

2年 教材名 「たんぽぽのちえ」



この授業では、

- ・「始め」「中」「終わり」の三段構成の仕組みを理解すること。
- ・問いの文を終わりの段落を参考にして自分の言葉でまとめること。

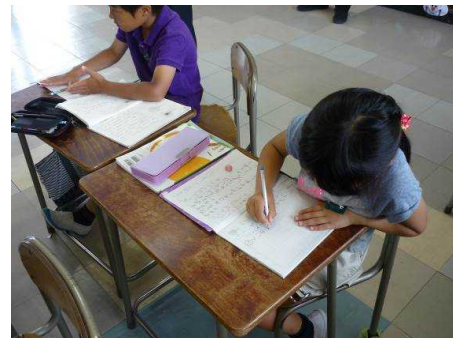
の2点を目標としました。

初めに、これまでに確認してきた「ちえ」をセンテンスカードに並び替え、文章のまとまりを確認しました。

(センテンスカードを並び替えている様子)

そして本時の目標である「問いの文」を考えていきました。「かくれた問い」を見つける内容は3年生の学習になりますので、課題に取り掛かった際には分からない児童が多くいました。

そこで、1年生の「くちばし」の学習を想起させ、「答え」につながるものが「問い」になることを確認し、10段落に着目させ、「答え」につながるものから問いの文を考えました。分かった児童が周囲の児童にヒントを与えたことで「なかまをふやしていくのでしょうか」という文に気付き、問いかけの文になる「どのようにして」とを組み合わせて、「たんぽぽはどのようにしてなかまをふやしていくのでしょうか。」という問いの文を書くことができました。



(考えをノートに書く様子)

問いの文を書けた後に「ちえ」のセンテンスカードに着目させ、詳しい「ちえ」の説明が書かれている段落は「答え」の段落につながる働きをしていることを確認しました。そして、こうした文章の構成を「はじめ」「中」「終わり」の「三段構成」ということを一緒に確認し、学習用語として共通理解しました。どの子も説明文の文章構成を理解することができて、今後の説明文の読み解きにつながる学習となりました。



(考えた問いの文を発表している様子)